



壬生町政

住民登録人口

昭和42年3月1日現在	対前月比
総人口 24,271人	49人増
男 11,977人	29人々
女 12,294人	20人々
世帯数 5,081世帯	17世帯増

発行所 栃木県壬生町役場 (毎月24日発行) 昭和34年9月30日第三種郵便物認可 一部4円70銭



防火槽の作業風景 (藤井台坪)

火災にそなえて

防火貯水槽建設

壬生町では、昭和41年度事業で4基の防火貯水槽の施設工事を開始しています。

おもに黒川東の水利の便の悪いところに重点的に……

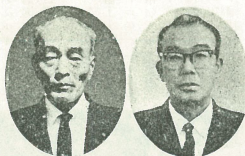
トップは藤井台坪毛塚落花生工場敷地内で、工期は3月14日～4月15日、工事費145,000円(他、3カ所も同じ)です。

その他は、稲葉支所構内、国谷南坪、石村作一郎宅地先、六美町、山川屋男宅地内です。工事については、いづれも地元有志の方々のご協力を得ています。

現在本町内の防火貯水槽は62基で、この4基が完成すれば66基になります。

(歳入) 昭和42年度公共下水道事業特別会計予算 (歳出)

Table with 4 columns: 款, 本年度予算額, 前年度予算額, 本年度予算額. Rows include 1.国庫支出金, 2.繰越金, 3.繰越債, 4.町合計.



副議長 松本徳太郎氏

会期の最終日の十八日に(完業) 壬生町議会、副議長長藤久夫氏から一身上の都合により辞任した旨の申出があり改選の結果、議長松本徳太郎氏、副議長に森田一氏が就任した。常任委員長、壬生町農業委員

(歳入) 昭和42年度上水道事業特別会計予算 (歳出)

Table with 4 columns: 款, 本年度予算額, 前年度予算額, 本年度予算額. Rows include 1.事業収入, 2.繰越金, 3.繰越債, 4.町合計.

この条例改正点は同条例の第五条(税等)の内、被保険者増割五百九十を八百十と、世帯別平等割を一世帯中の特例委員会が研究するよ

大選挙区で議員定数を二十名に特別委に附託 三月十八日の町議会において議員提案により「小選挙区

立替金の事務調査の結果報告 壬生町上水道事業の立替金 高額より低くなるため六万五

四月の納税 固定資産税 第一期 軽自動車税

正副議長の改選 議長に松本氏、副議長は森田氏

会期の最終日の十八日に(完業) 壬生町議会、副議長長藤久夫氏から一身上の都合により辞任した旨の申出があり改選の結果、議長松本徳太郎氏、副議長に森田一氏が就任した。常任委員長、壬生町農業委員

区を七万円に改めた。 助役大垣八郎氏に対する退任の報告があった。

不採択二件 麻敷商工業組合に対し連済補助金下附ノ切取水利組合が提出した請願

各常任委へ附託 請願など七件 議会最終日に提出のあった請願事件は各常任委

(歳入) 昭和42年度一般会計予算 (歳出)

Table with 4 columns: 款, 本年度予算額, 前年度予算額, 本年度予算額. Rows include 1.町方交付金, 2.地方負担金, 3.分租負担金, 4.使用料, 5.国庫支出金, 6.県支産, 7.財附入, 8.寄附金, 9.繰越金, 10.臨時交付金, 11.諸収入, 12.臨時交付金, 13.臨時交付金.

昭和四十二年度当初予算案などを中心とした三月定例会は、十一日午前八時壬生町議場に招集され本会議を開いた。今議案に提案された新年度一般会計予算案および三つの特別会計予算案など予算関係四件、条例関係四件、報告その他五件、計十五件であり、このほか陳情、請願など前議案からの提案分十六件、追加七件、計二十三件が審議されました。

▽昭和四十二年度一般会計予算案 佐藤町長の就任最初の予算として注目された新年度の一般会計予算は教育、土木関係を中心として編成された。

健康保険の会計は前年度初予算より一千五百四十七万八千円増で、歳入の四二・五%

道路新設ノ榊小売商組合に対する補助金増額ノ川内橋から国谷寺等へ通ずる町道拡張

道路新設ノ榊小売商組合に対する補助金増額ノ川内橋から国谷寺等へ通ずる町道拡張

本町の職員数は特別職が三百三十七名、(三役、教育長及び非常勤の町議会議員、農業委員、消防団員など)、一般職百六十七名、このほか三特別会計の特別職九名、一般職十名となっております。

健康保険の会計は前年度初予算より一千五百四十七万八千円増で、歳入の四二・五%

道路新設ノ榊小売商組合に対する補助金増額ノ川内橋から国谷寺等へ通ずる町道拡張

道路新設ノ榊小売商組合に対する補助金増額ノ川内橋から国谷寺等へ通ずる町道拡張

四十二年度予算など 一億九千三百万円

壬生町議会 三月定例会

(歳入) 昭和42年度国民健康保険特別会計 (歳出)

Table with 4 columns: 款, 本年度予算額, 前年度予算額, 本年度予算額. Rows include 1.国民健康保険税, 2.一部負担金, 3.使用料及手数料, 4.国庫支出金, 5.県支産, 6.寄附金, 7.繰越金, 8.繰越債, 9.諸収入.

お知らせ



壬生町老人クラブ

ブ連合会を結成
壬生町では、壬生、稲葉、南大飼地区に、それぞれ分かれていた老人クラブを連合して、「壬生町老クラブ連合会」を結成して、二月十三日

連合会の正副会長には互選の結果、次の方々が選ばれました。
会長、佐藤鶴七(壬生地区)
代老氏、
副会長、島田雅(南大飼)
中央公民館
無料 四月の心配()
と相談
第一火曜日 四日
第二火曜日 十一日
第三火曜日 十八日
第四火曜日 二十五日

南大飼公民館
第一火曜日には、行政相談も併せて開設されます。
(時間はいずれも十時から三時まで)

地区代表 氏、大場儀市 稲葉地区代表 氏、
三保育所でヒナ祭り

壬生町の三保育所では、三月三日恒例の雛祭を行いました。
当日は、歌や遊技ゲームなどをを行い楽しい一日を過ごしました。
また、第一保育所では、雛祭りにあわせて、一月三日までに生れた児童の誕生祝も行われました。

自動車のタイヤを寄贈

第一保育所へ
壬生町町の荒川春吉(肉店)さんは、第三保育所(稲葉)に、古タイヤを十三本寄贈しました。
保育所では、児童の運動に云って、さっそく庭に取り付け、毎日喜んで遊んでいます。

第一保育所にうどんをおくる

壬生町城内の玉田重利(製麺業)さんは、生うどんと三たまを寄贈しました。
保育所では、給食時間にもちそうしました。

栃木県議会議員選挙 投票日 四月十五日

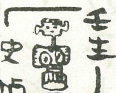
私たちの生活と関係の深い▽クッ小川俊雄氏(南大飼) 県議会議員の選挙が四月十五日(土)に行われます。
告示は三月三十日、この日から候補者は街頭へ出て選挙戦に入る訳です。下都賀選挙区は定員四名です。今回の選挙から任意制選挙公報が発行されますからよくご覧ください。

総代さんの交たい

次の方々が新しく総代さんになりました。
▽三月十六日より▽上町 三上正作 ◎三月十八日より▽旭町 戸崎峯吉 ◎三月二十日より▽上坪 寺内秀吉 ◎三月二十一日より▽本坪 榎竹武 ◎四月一日より▽木野内町 至宝町 大坂近太郎 ◎中央 藤原庄 坂武園 地 領 湯 野 星 の 宮 川 細 井 喜三郎 ◎上長田 船崎忠義

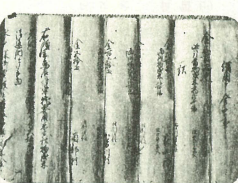
人事消息

菊柳金剛氏(壬生町議会議員、前農業委員、元南大飼農協理事)三月十六日午前十一時五分、狭心症のため大宇安(安塚三〇三番地の自宅)において死去、六十六才。
新規模採用者(二月一日付)
▽副団長 長 山田村栄市(壬生)
▽副団長 堀沼三典(稲葉)
三橋博子(第一保育所保育母)



壬生 江戸時代の壬生

幕末の世相 その二
前号では壬生領内の農民生活の状況の一部を記述したが、今回は江戸時代の壬生生活の状況の一部を記述しよう。
生活の状況の一部を記述しよう。
生活の状況の一部を記述しよう。
生活の状況の一部を記述しよう。



壬生藩発行の借入金

状況は単に壬生藩のみならず当時、幕府をはじめ各藩でもほぼ同様であった。
幕府では貨幣の改鋳などを度行っていた。
前納によって窮状を打開しようとした。
即ち嘉永五年領内の上納米を納めるよう申し渡した。
その文書の借用申附文書(その文書の借用申附文書)の文書が残っている。
金五百両也。此引当物米式千俵(但老賢科付)内訳
金二百両(当四百俵 大塚村)
金百両(当四百俵 大塚村)